



(左)災害時に備えて地域住民も参加して行う総合防災訓練。安全・安心な暮らしを守っている。
(下)上越市ファミリー綱引き大会。子どもから大人まで世代を超えた地域の協調と融和を目的に開催。市民がスポーツに接し、参加できる機会の提供に努めている。



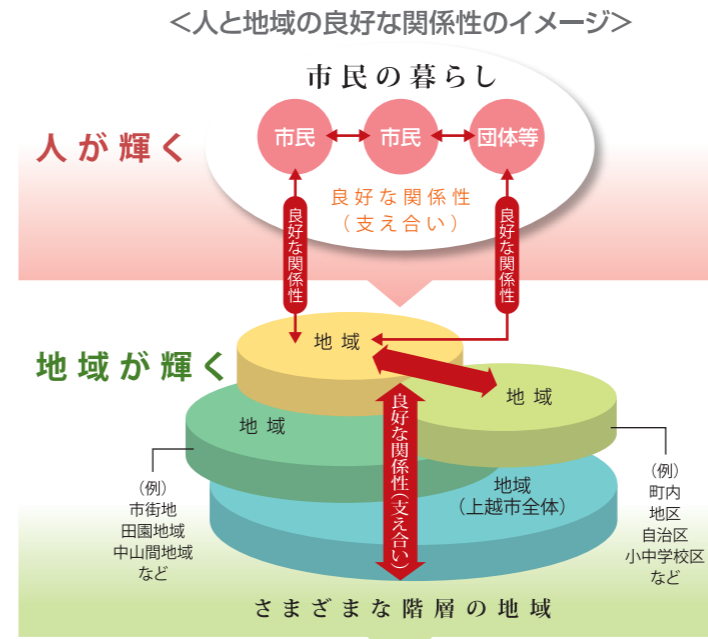
市政運営の最上位計画である第6次総合計画に基づき、将来の世代に魅力あるまちを引き継いでいくため、市民の暮らしを支える行政サービスを安定的・持続的に提供していくとともに、さまざまな「まちの力」を十分に発揮させるまちづくりを進めます。

市民が主役のまちづくりと七つの政策分野での取り組み
第6次総合計画の計画期間である平成27年度から8年間は、平成17年の市町村合併以後進めてきたさまざまな取り組みの成果を十分に発揮させ、市民の暮らしの豊かさを高めていく新たなまちづくりのステージへステップアップする重要な時期です。豊かな自然や歴史・文化、充実した広域交通網、地域や市民の活発な活動などさまざまな「まちの力」を生かし、「選ばれるまち 住み続けたいまち」をテーマに、政策分野別に掲げた「すこやかなまち」を目標とした政策・施策を展開します。

第6次総合計画における将来都市像

すこやかなまち ～人と地域が輝く上越～

《政策分野別のすこやかなまちのイメージ》



人と地域が輝く上越



すこやかなまち
人と地域が輝く上越を目指して
市民の暮らしを大切に、市民と共に、まちの総合力と求心力を高めます
将来都市像に「すこやかなまち」と人と地域が輝く上越を掲げ、さまざまな個性を有し、自然環境と生活の利便性が調和した総合力の高いまちとして、「人と地域の良好な関係性」を大切に、人が輝き、地域が輝くまちづくりを目指します。

(下)安心して子育てをしてくれるよう保育環境の拡充を図り、多様なニーズに対応した保育サービスの提供に取り組んでいる。

